

事業報告

I. 事業概要

1. 重点実施事項

(1) 教育訓練事業

- ①平成 29 年度の卒業生数は 49 名で、コース別の内訳は、総合養成科 23 名（1 年コース 13 名、前期コース 10 名）、食肉販売科 26 名でした。
- ②時代のニーズに沿って「食肉業界と HACCP」「家畜伝染病と輸入食肉検査」等の講座を新設しました。
- ③学生各々の習得状況に応じた個別指導、課外授業等を実施し、資格取得に向けた指導を継続強化しました。
- ④食肉加工品製造実習、調理、ミートデリカ、惣菜等の消費者接近授業を充実させ、提案力強化を図りました。
- ⑤学生との日常的なコミュニケーションを図り、役職員、講師、寮監との情報共有化に努めました。
- ⑥学生派遣企業への早期推進を行うとともに、新規派遣企業を獲得しました。また、派遣企業へ厚生労働省の人材開発支援助成金の活用を継続して推進提案しました。

(2) 教育研修事業

- ①FMA セミナー（本校主催研修会）は、広報活動を強化しましたが、総定員数 300 名に対して 188 名の受講生数で、受講率は 63%（計画 80%、前年度 74.0%）でした。今年度も引き続きドイツの食肉マイスターセミナーを実施しました。
- ②企業提携研修は 45 法人 84 回開催しました。（前年度 36 法人 66 回）。（公社）中央畜産会と連携し、新規に和牛輸出先国の招聘研修会を 4 回実施し、9 カ国から約 80 名の有名レストランのシェフ等が参加しました。
- ③和食文化と日本式食肉処理・加工技術の普及のための海外セミナーについては、JA 全農ミートフーズ(株)に出向中の講師を含めて 13 カ国 19 回実施しました。
- ④消費者向けセミナーについては、従来からの生協最大手との料理セミナーに加えて、群馬県農政部畜産課と連携したフライパンセミナー、玉村町住民活動サポートセンターと連携したセミナーを計 6 回実施しました。
- ⑤厚生労働省の若年技能者人材支援等事業（ものづくりマイスター制度）は 5 年目となり、群馬県職業能力開発協会の協力を得て、群馬県内の 6 つの高校の授業の一環として、豚枝肉からハムソーセージ作りを計 10 回実施

し、2年生を中心に220名が参加しました。加えて、「めざせマイスタープロジェクト」として、地元小学校への出前授業を実施しました。

⑥食育セミナーについては、玉村町住民活動サポートセンターと連携して「夏休み食育料理体験」を企画し、地元小中学生とその保護者に大好評でした。

(3) 通信教育事業

通信教育3コースについては、大手食肉量販店から継続して受講申込があり、3コース合わせて受講者数は317名(昨年度466名)と、定員(300名)を上回りました。

(4) 資格認証事業

①食肉処理製造技術(部分肉)資格の豚部分肉製造マイスターの取得者は20名(受験者22名、合格率90.9%)これまでの累計で157名、牛部分肉製造マイスターの取得者は7名(受験者8名、合格率87.5%)累計で62名となりました。

②豚部分肉製造1級は1名、2級は4名、牛部分肉製造2級は1名がそれぞれ合格しました。

③食肉販売技術管理士資格については、学生12名、外部2名が合格しました。

④6回目となるお肉検定については畜産系大学にも広告する等営業範囲を拡大し、受験者は過去最高の1,819名(昨年度1,573名)となりました。お肉博士1級取得者は820名(累計3,546名)、お肉博士2級取得者は308名(累計1,778名)となりました。また、日本テレビのヒルナンデスに取り上げられ、9回にわたりお肉検定関連が放映されました。

⑤外国人技能評価試験については、「牛豚部分肉製造作業(初級)」で395名(昨年度179名)が受験し全員合格しました。また、牛豚精肉製造作業の試験実施機関としても認定申請準備中です。

⑥4回目となる食品衛生管理者登録講習会については、これまでで最高の60名が受講し、全員修了証を取得することができました。これまでの累計修了者数は184名となりました。

(5) 食肉製品製造販売事業の取り組み

①(株)群馬県食肉卸売市場の「肉の駅」3店舗へのベーコンの販売は順調でしたが、さとふる(玉村町ふるさと納税返礼品)は低調に終わりました。新規販売先としてJA佐波伊勢崎の「からかーぜ」が決まりました。

②玉村町産業祭に昨年に引き続き出店し、ベーコンサンド500食を提供したところ、大好評のうちに完売しました。

(6) 教育指導力・組織運営力の強化

①職業能力開発促進法の定める職業訓練指導員資格を専任講師 2 名が新たに取得し、合計 9 名となりました。これで本校専任講師全員が有資格者となりました。

②総務部職員 1 名が公益法人会計検定試験 3 級に合格しました。

2. 学校運営

(1) 品質管理システム導入の取り組み

S Q F 認証取得は次年度への継続課題としました。

(2) 経営基盤の確立

収支相償に向けて受講料等を値上げし、同時に経費の圧縮を図りました。

(3) 入会預り金の適正管理

満期保有目的化した債券についてはこれを維持し、低金利下において比較的高い運用益を得ることができました。

(4) 公益法人会計の適正適用

公益会計の 3 基準である、収支相償、公益目的事業比率、遊休財産額の保有制限について、適正処理により遵守しました。

(5) 学習・生活環境の改善

①サイレントカッター、スタッパー、ラベル計量器、実習棟教室エアコン、大教室プロジェクターと全ての椅子を更新しました。

②食堂厨房機器一式を更新しました。

(6) 情報発信力の強化

①ホームページのトピックス・ブログ・フェイスブックを適時更新しました。

② J A グループ、群馬県、玉村町との連携及び事業範囲の拡大による本校の知名度向上により、多くのメディアへの露出機会が増加しました。

NHK (ワールド、ラジオ等)、日本テレビ「ヒルナンデス！」

日経新聞、日経プラス 1、日本農業新聞、日刊スポーツ、マイナビ農業他

③銀座の「ぐんまちゃん家」において旅行社等を集めて行われた玉村町のプレゼンテーションに参加した結果、東武トップツアーズのバスツアー参加者が来校し、食育授業を受けて本物の食肉製品の味を堪能しました。

(7) 同窓会組織の再構築

同窓会活動は特にありませんでした。

(8) その他

2月25日に行われた総合養成科感謝祭においてそうざいの表示ミスが発生し、お詫びの社告掲載と自主回収を行いました。課題を整理し工程表に沿って再発防止を図っていきます。

3. 単年度収支

- (1) 平成29年度の経営は、経常収益は243,138千円、経常費用が244,975千円となり、評価損益等調整前当期経常増減額は△1,838千円と、前年、計画共に上回りました（計画△12,876千円、前年度△13,006千円）。
- (2) 平成29年度の正味財産期末残高は276,009千円となりました。
- (3) 公益認定法第5条第8号および第15条に規定される公益法人としての基本的な要件である公益目的事業比率は、83.7%となり、基準の50%を上回りました。

Ⅱ. 関係資料

1. 教育訓練事業

(1) 入学・卒業期日

科	入学期日	卒業期日
総合養成科 1年コース	4月 6日	3月 2日
総合養成科 前期コース	4月 6日	9月 29日
食肉販売科	4月 6日	6月 30日

(2) 入学・卒業・修了生数

(単位:名)

区分		科	総合養成科		食肉販売科	合計
			1年コース	前期コース		
本 年 度	入 学 身	入 学 生 数	12	12	26	50
		会 員 ・ 同 出 資 企 業	0	2	17	19
		食 肉 関 連 企 業	1	4	8	13
		食肉専門店等後継者	11	6	0	17
		一 般	0	0	1	1
		海 外	0	0	0	0
	コ ー ス 変 更 ・ 退 学	1	△2	0	△1	
	卒 業 生 数	13	10	26	49	
累 計 卒 業 生 数		1,732	64	526	2,432	

- (注) 1. 累計の合計は、開校以来の合計数である（食肉加工科 110名を含む）。
 2. 累計には修了生は含まない（1年:11名、前期:37名、計 48名）。
 3. 会員・同出資企業とは、会員及び会員が出資している企業（子会社等）

(3) 修学時間数

(単位:時間)

科		学 科		実 技				計
		前期	後期	前期 〈校内〉	後期		計	
					〈校内〉	〈校外〉		
総合養成科	29年度	340.5	136.5	520.0	168.0	560.0	728.0	1725.0
	28年度	338.5	143.5	522.0	168.0	560.0	728.0	1732.0
前期コース	29年度	340.5		563.0		565.0		903.5
	28年度	338.5		565.0		565.0		903.5
食肉販売科	29年度	200.0		285.0	(51.0)		285.0	485.0
	28年度	199.0		286.0	(52.0)		286.0	485.0

(注) 1. 食肉販売科の校外実習 () は選択制である。

2. 教育研修事業

(1) FMAセミナー

日程		講座名	定員	参加者	
基礎	1	6/6	食肉加工品の基礎知識半日セミナー	15	8
	2	6/6	食肉の基礎知識半日セミナー	15	20
	3	6/7	食肉の原価計算基礎から応用セミナー	20	13
	4	8/21~23	食肉基礎セミナーⅠ(牛肉編)	30	24
	5	8/28~8/30	食肉基礎セミナーⅡ(豚肉編)	30	30
	6	9/4~9/6	食肉基礎セミナーⅢ(加工品編)	20	18
	7	10/4~5	食肉基礎セミナーⅣ(内臓肉編)	20	8
	8	10/16~17	食肉基礎セミナーⅤ(精肉編)	20	7
	9	10/18~20	食肉基礎セミナーⅥ(食肉惣菜・調理編)	15	5
公開 授業	1	5/5~20	豚部分肉加工技術者研修	5	9
	2	9/11~14	牛部分肉加工技術者研修	5	8
応用	1	10/3~6	加工品製造技術向上セミナー	20	8
	2	2/6~9	食肉マイスターセミナー	20	10
技能 検定	1	1/11	ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能検定受験準備研修会【2級】	20	5
	2	1/12	ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能検定受験準備研修会【1級】	20	6
資格	1	1/17~26	食肉販売技術管理士技能講習会(公開講座)	5	2
宿泊	1	3/12~15	食肉業界入門(新人社員)研修	20	7
計			300	188	

(2) 企業提携研修

月	法 人 名
5	愛知経済連、(株)JA 食肉かごしま
6	JA 全農インターナショナル(株)(2回)、(公社)日本食肉格付協会、愛知経済連(2回)
7	JA 全農ミートフーズ(株)、JA 全農いしかわ、JA 全農インターナショナル(株)、農水白河、東京農業大学、総合食品エスイー(株)、(一社)たまむら住民活動支援センター
8	JA 全農ミートフーズ(株)、(株)JA 食肉かごしま、東京農業大学、豚肉勉強会事務局、(株)岩手畜産流通センター、JA 全農インターナショナル(株)
9	日本メイプルリーフフーズ(株)、JA 全農インターナショナル(株)、JA 群馬担い手サポートセンター、日本養豚大学校
10	利根実業高等学校、日本畜産物輸出促進協議会、JA 全農インターナショナル(株)、静岡経済連、愛知経済連(2回)、九州管内系統食肉センター協議会、(株)成城石井、(株)ベイシア、生活協同組合コープみらい
11	(株)成城石井(2回)、日本畜産物輸出促進協議会(2回)、関東畜産学会、JA 全農インターナショナル(株)、JA 全農いしかわ、勢多農林高等学校、(株)ベイシア、カナダビーフ国際機構、(一社)たまむら住民活動支援センター、(株)JA 食肉かごしま
12	静岡県畜産共進会、(独)農畜産業振興機構、勢多農林高等学校、藤岡北高校、生活協同組合コープみらい、安中総合学園高等学校、中之条高等学校、新田暁高等学校、伊勢崎興陽高等学校(2回)、(一社)たまむら住民活動支援センター
1	サトウ食品(株)、全国食肉センター協議会、伊勢崎興陽高等学校(2回)、吉田ハム(株)、日本メイプルリーフフーズ(株)、塚沢小学校、日本畜産物輸出促進協議会、(株)ミヤチク(2回)
2	(株)ミヤチク、群馬県、東武トップツアーズ(株)、(株)JTB コーポレートサービス(2回)、日本メイプルリーフフーズ(株)、全国食肉センター協議会、九州管内系統食肉センター協議会、愛知経済連
3	ブラボーワークス(株)、JA 全農インターナショナル(株)、(株)ミヤチク、(株)JA 食肉かごしま、カナダポークインターナショナル、JA 全農ミートフーズ(株)、JA 全農、杉本食肉産業(株)
合 計	実施企業数 45 法人 実施回数 84 回

3. 通信教育事業

(1) コース別受講生

(単位：名、%)

コース名		定員	受講者	修了者	修了率
食肉流通業務実践コース	29年度	200	176	156	88.6
	28年度		255	233	91.4
食肉の原価計数管理コース	29年度	50	83	70	84.3
	28年度		107	100	93.5
食肉関連法規コース	29年度	50	58	52	89.7
	28年度		104	92	88.5
計	29年度	300	317	278	87.7
	28年度		466	425	91.2

4. 資格認証事業

(1) 食肉販売技術管理士認定試験

(単位：名、%)

	受験者	合格者	合格率
学生	13	12	92.3
外部	2	2	100.0
計	15	14	93.3

(2) 豚部分肉製造マイスター認定試験

(単位：名、%)

受験者	合格者	合格率
22	20	90.9

(3) 牛部分肉製造マイスター認定試験

(単位：名、%)

受験者	合格者	合格率
8	7	87.5

(4) 豚部分肉製造1級・2級認定試験

(単位：名、%)

受験級	受験者	合格者	合格率
1級	1	1	100.0
2級	4	4	100.0

(5) 牛部分肉製造2級認定試験

(単位：名、%)

受験級	受験者	合格者	合格率
2級	1	1	100.0

(6) 外国人技能実習評価試験（牛豚部分肉製造作業）

(単位：名、%)

受験者	合格者	合格率
395	395	100.0

(7) 食品衛生管理者登録講習会

(単位：名、%)

受講者	修了者	修了率
60	60	100.0

5. お肉検定

(単位：名、%)

受検級	応募者	受検者	合格者	合格率
1級	1,475	1,401	820	58.5
2級	464	418	308	73.7
計	1,939	1,819	1,128	62.0

6. 学生の表彰

(1) 学校長賞

賞	総合養成科	総合養成科 前期コース	食肉販売科
優秀賞	内藤 拓哉 田中 友也 南 亮太郎	八田 将徳 松野 栄 桐山 純一	後路 健介 村松 滉生 澤村 竜樹
優良賞	曾田 涼太	能登 圭太	久保 直道 下矢尻 拓馬
技能賞	小松 健人	—	—
努力賞	—	—	白井 拓也 齊木 正義 黒木 孝宏 河野 潤一

(2) 褒賞

褒賞名	総合養成科	総合養成科 前期コース	食肉販売科
農林水産省生産局長賞	内藤 拓哉	八田 将徳	後路 健介
群馬県知事賞	田中 友也	松野 栄	村松 滉生
(独)農畜産業振興機構理事長賞	南 亮太郎	桐山 純一	澤村 竜樹
群馬県職業能力開発協会会長賞	曾田 涼太	能登 圭太	久保 直道 下矢尻 拓馬

Ⅲ. 主な報告事項

1. 会員の異動

	期首	入会	脱退	期末
会員	23	0	0	23

2. 役員の異動

区分	期首	辞任	就任	期末
常勤理事	1	0	0	1
非常勤理事	10	3	2	9
監事	2	1	0	1
計	13	4	2	11

(1) 就任

理事

田邊 博 (株式会社科学飼料研究所取締役) 平成 29 年 6 月 15 日
青島 正泰 (公益社団法人日本食肉格付協会専務理事) 平成 29 年 6 月 15 日

(2) 辞任

理事

大谷 晃也 (前株式会社科学飼料研究所常務取締役) 平成 29 年 6 月 15 日
中出 篤伸 (前全国農業協同組合連合会経営管理委員会副会長) 平成 29 年 8 月 29 日
藤倉 浩文 (前農林中央金庫食農法人営業本部営業第二部部长) 平成 30 年 3 月 15 日

監事

中村 哲也 (前全国農業協同組合連合会畜産総合対策部次長) 平成 30 年 3 月 31 日

3. 学校運営委員会委員の異動

	期首	辞任	就任	期末
運営委員	7	4	3	6

(1) 就任

藤島博康	(独立行政法人農畜産業振興機構畜産振興部部長)	平成29年4月14日
中野修	(愛知県経済農業協同組合連合会常務理事)	平成29年7月20日
山口和彦	(鹿児島県経済農業協同組合連合会常務理事)	平成29年7月20日

(2) 辞任

岡田摩哉	(前独立行政法人農畜産業振興機構畜産振興部部長)	平成29年4月14日
大木孝義	(前愛知県経済農業協同組合連合会常務理事)	平成29年7月20日
小原松男	(前鹿児島県経済農業協同組合連合会常務理事)	平成29年7月20日
中村哲也	(前全国農業協同組合連合会畜産総合対策部次長)	平成30年3月31日

4. 職員の異動

区分	増減			期首			増			減			期末		
	性別			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
総務部	3	2	5	1	0	1	0	0	0	4	2	6			
教務部	10	0	10	1	0	1	1	0	1	10	0	10			
計	13	2	15	2	0	2	1	0	1	14	2	16			

(1) 採用

石井清栄	平成29年4月1日
宮崎純	平成29年4月1日

(2) 退職

石川博志	平成29年4月29日
------	------------

5. 主要業務・行事等

月	日	事 項
4	1	平成30年度学生募集開始
	6	総合養成科第53期生・食肉販売科第28期生入学式
	26	平成28年度事業監査(業務)
	27	平成28年度事業監査(会計)
5	1	平成29年度通信教育講座開講(実践・原価・法規・3コース)
	24	第1回理事会(第1回定時総会上程議案の付議他)
6	1	平成30年度入学者願書受付開始
	15	第1回定時総会(平成28年度事業報告他) 第2回理事会(代表理事、副理事長ほか互選)
	26	食肉販売科卒業記念感謝祭
	30	食肉販売科第28期生卒業式
8	17	第1・四半期監事監査
	29	第3回理事会(代表理事互選)
9	24	総合養成科前期コース卒業記念感謝祭
	29	総合養成科前期コース卒業式
11	8	第2・四半期監事監査
	12	第6回お肉検定
	28	創立記念日(創立44年) 第4回理事会(上半期執行状況報告)
1	29	食品衛生管理者登録講習会(1/29～3/2)
	31	第3・四半期監事監査
2	2	技能照査試験
	4～9	オーストラリア食肉研修
	25	卒業記念感謝祭
3	2	総合養成科第53期生卒業式
	13	学校運営委員会
	14	第5回理事会(平成30年度事業計画書・予算他)